

(浅田次郎著・新潮社・1575円)

赤猫異聞

「御一新」から間もない明治元年の暮れ。旧江戸の街が大火に見舞われた。新政府になっても罪人を収容していた伝馬町牢屋敷では、罪人をいったん釈放する「解き放ち」が行われた。鎮火後、重罪だった繁松、お仙、七之丞の3人は帰ってくるのか？ 終盤に明かされる衝撃の真実。「小説の達人」は読者の期待を裏切らない。



●幸福な田舎のつくりかた(金丸弘美著・学芸出版社・1880円)



「食」をキーワードに地域の未来を開く仕掛けを考え、支援する著者の現場報告。山形県鶴岡市、長野県飯田市、山口県萩市、高知県四万十町などで繰り広げられる元気な話が次々に登場。地方へ衰退の図式が覆される。

●原発をやめる100の理由(日本版制作委員会著、西尾漢監修・築地書館・12600円)



エコ電力で起業したドイツのシェーナウ村の人たちが書いた冊子の翻訳に、日本の現状を書き加えた。ウラン採掘から健康被害、廃棄物処理まで、原発の問題点とエネルギーの未来をやさしく解説。

●ここから生まれた故事成語(堀江忠道著・京都書房) ことのは新書・777円)



四字熟語など中国で生まれた168の故事成語について、一つ一つの意味と成立の背景を詳しく解説する。言葉の意味を学びながら、先人の営みや中国史の奥深さも感じることができ。索引や年表も親切だ。

●あなたは、次の災害で生き残れますか？(半田亜季子著・近代消防社・1980円)



東日本大震災は、我々にどんな教訓を残したのか？ 災害から生き残るのに必要な心構えや備え、日ごろからどんな人間関係を築く必要があるのか。「人生のマークシート」に答えながら考える。